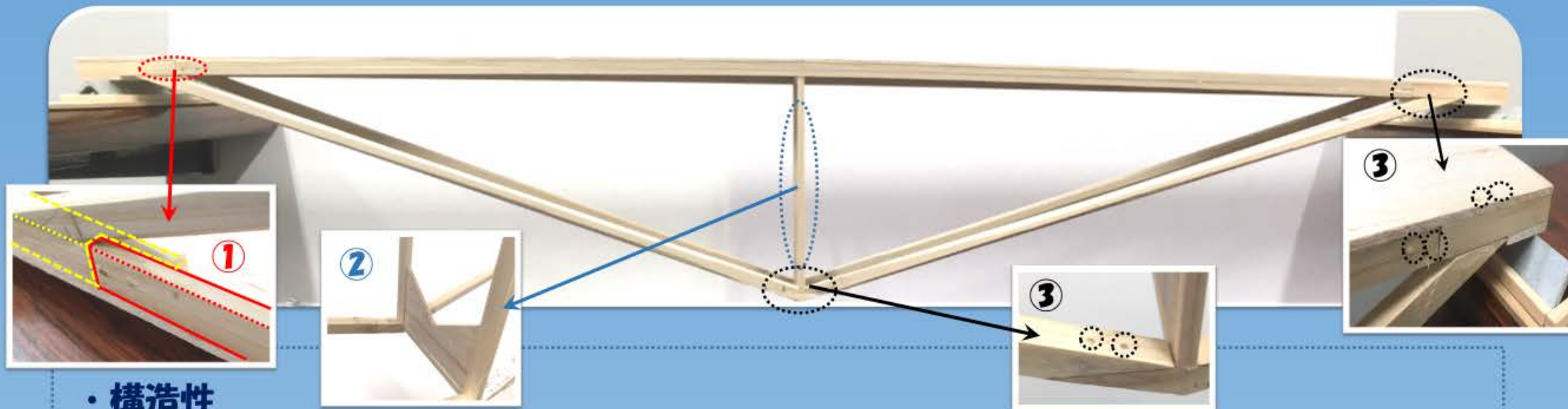


# CROWN bridge

TEAM KH

～製作性と合理性を追求した橋梁～



## ・構造性

- ① 支点部の床材の連結部を強固にするため**噛み合わせ構造**を採用
- ② 荷重集中点の格点部に中間部材を設置し、**横倒れを防止**

- ③ 縦リフと支点、斜材同士、斜材と床版の連結部の接合に**竹ひご**による支圧接合を採用

## ・合理化の追求

- ・ 使用部材は直線部材のみで構成し**製作精度の向上、製作時間の短縮**を図った
- ・ 構造上不要な部分を省略し最小限の部材数による最適構造化

## ・経済性

- ・ 床材にバルサ材を使用、斜材断面欠損により、必要最小限の断面を確保することで、**軽量化**を実現

